

上下水道高度運用システム

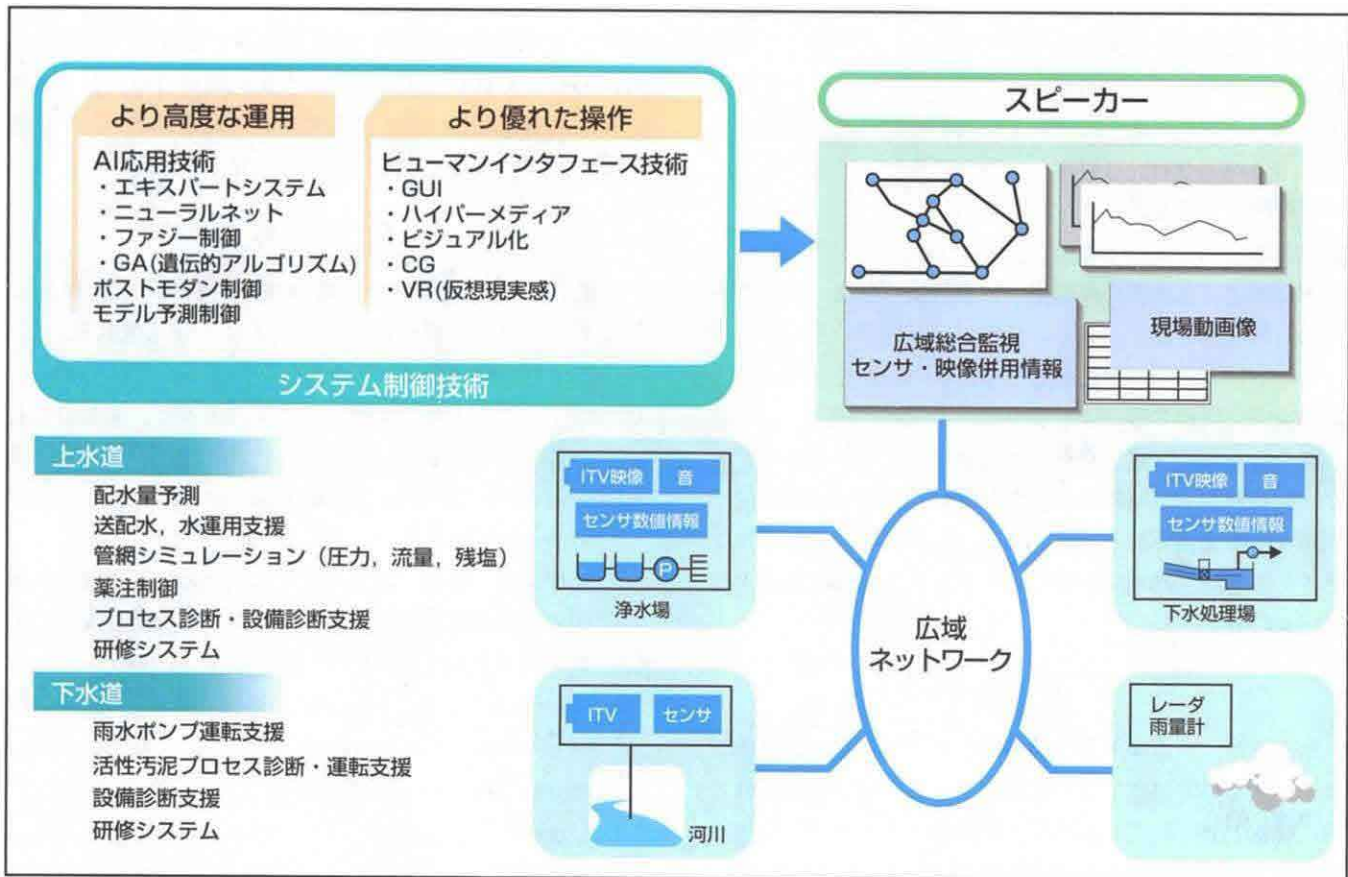
田中久雄* 岡田叔之*
 進藤静一** 堀川 豊*
 築山 誠***

要 旨

近年、地球環境問題、高齢化、高度情報化の進展など上下水道を取り巻く環境は大きく変化しており、上下水道の運転管理においても、このような環境変化に柔軟に対応できる、より効率的なシステムが求められてきている。このような要求にこたえるために、エキスパート、ファジー制御、ニューラルネット等の人工知能(AI)応用技術と、マルチメディア、三次元グラフィック等のヒューマンインタフ

ェース技術が運転管理システムに取り入れられ、高度な運用システム実現が目指されてきている。

ここでは、これらの技術を適用した例として、マルチメディア雨水ポンプ運転支援、下水処理場のぼっ(曝)気槽運用支援、配水量予測、配水バルブ操作運転支援システム例を紹介する。



下水道高度運用システムのイメージ

多様な社会的要請にこたえるため、上下水道運用システムは、知的制御技術やマルチメディア技術などにより、より柔軟で人間に分かりやすいシステムが実現される。